

ビジネスプラス



代表取締役 **岩本 和美 氏** (旧姓：木村)

昭和50年1月20日生まれ。
呉市出身。趣味はドライブと旅行。

便利屋ワンズ

「一人でも多くの方が

笑顔になれるように」

自身について

生まれも育ちも呉市で呉が大好きな私です。若い頃に離婚し3人の

子育てをしながら、実家の飲食店の手伝い、派遣会社、友人のお店の手伝いと様々な仕事を掛け持ちして生計を立てていました。両親が商売をやっていたので私も昔から独立して何かしたいと思っていました。30代

後半になり子育てもひと段落したので、最後のチャンスだと思い真剣に考え探しました。

起業した経緯

私は飽き性なのか、勤めてすぐは覚えることがあったり新しい発見があつたりで楽しいのですが、1年を過ぎると二通り覚えつまらなくなってきたので辞めてまた転職してみました。最後のチャンスで真剣に考えたときに「子供」「女性」「福祉」がキーワードとなり、15万人以上の都市で呉市は、高齢化率が33%を超えて全国で1位と、高齢者が多いので「福祉」を選択しました。

介護タクシー、訪問介護ステーションを開設しなかったので、勤めながらヘルパーを取得し休日を利用して訪問介護業界へ飛び込んでみました。分かったことが2点ありました。1点目は、介護保険制度の改正です。改正がある度に振り回され継続的に経営をしていくことが難しくなるという不安。2点目は、介護保険適用の範囲が限られていることです。実際に働いてみると仕事には利用者さんにとっても喜んでいただけ「ありがたい」という言葉にとてもやりがいがあり、社会貢献の面でもとても充実していました。本当にやってみて欲しい「電球を替える」「窓の拭き掃除」「扇風機などを片付けて欲しい」「庭の草抜き」etc.:介護保険適用外の作業はヘルパーには出来ないことです。

この2点を踏まえ、些細な事が出来ない、情報が入っていない、小

さな相談事などが沢山あることが分かりました。そんな小さな問題を解決できる場所に私たちがいることが出来ればいいなと考えるようになり、何でもできる「便利屋」を立ち上げました。

会社について

便利屋というと男性が主体で力仕事にイメージされやすい職業で、10年前に始めたころは「便利屋始めました」というと「え??何してくれるん?」「胡散臭い」と言われることが多かったのですが、現在はマスクの力もあり「あんたええ仕事しようね」と言ってもらえるようになりました。

そして、女性スタッフだけの便利屋ワンズの強みは名前の通り、女性スタッフだけというところですね。ワンズの意味は「Woman All Zone+複数のSJ WANTS」です。女性スタッフだけにすることで、柔軟なイメージを持ってもらえたり、細かいところまで作業できたり、女性なので安心してもらえています。事業内容は生活サポート、家事代行、ハウスクリーニング、介護サポ



